



沼高トピックス かるた大会編

第165号 令和6年1月22日(月)発行



1月18日(木)7限目に、1年生全員が参加して百人一首かるた大会を行いました。

1年生は2学期の考査以降の国語の授業で、何回かかるた取りの練習をし、冬休みの課題として百人一首の暗記をして、この大会に臨みました。



試合は5対5の団体戦で、1チームの十人が前半と後半に分かれて試合を行いました。

読み手は国語の上杉先生でした。上杉先生が独特の節をつけて和歌を詠みあげると、札を取ったチームがあちこちで歓声をあげていました。



試合は後半になるとさらに白熱し、札を取った時の歓声も一段と大きくなりました。

順位は、まず試合に勝利した数が多いクラス。勝利数が同じ場合は、場に残った札が少ない方が順位が上になります。気になる順位は？

- 1位 1組(4戦 4勝)
- 2位 3組(4戦 3勝)
- 3位 7組(4戦 2勝)

2勝のチームは3クラスありましたが、残った札が少なかった7組が3位となりました。

勝ち負けはありましたが、どの試合も接戦で残った札が1枚の差で決まった試合もありました。

この大会にはニュージーランドから来た留学生のチャーリー君も参加しました。この大会を最後に帰国するので、最後にみんなに挨拶をしました。

